



川崎市立川崎病院
シンボルツリー



新病院長ご挨拶

病院長 野崎博之



この度、令和3年9月より川崎病院の病院長に就任しました野崎博之です。私は1999年5月に当院に赴任以来、地域の諸先生方に数々のご助言をいただきながら神経内科診療にあたって参りました。

新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、川崎病院は、日々の診療を止めることなく病院機能を維持するための独自の取り組みを実施し、早い段階で地域の医療を支える体制を整えました。

今後は病院長として、更に質の高い医療の提供を目指すとともに、より地域に密着した病院運営に努めてまいります。

白血病ってどんな病気ですか？



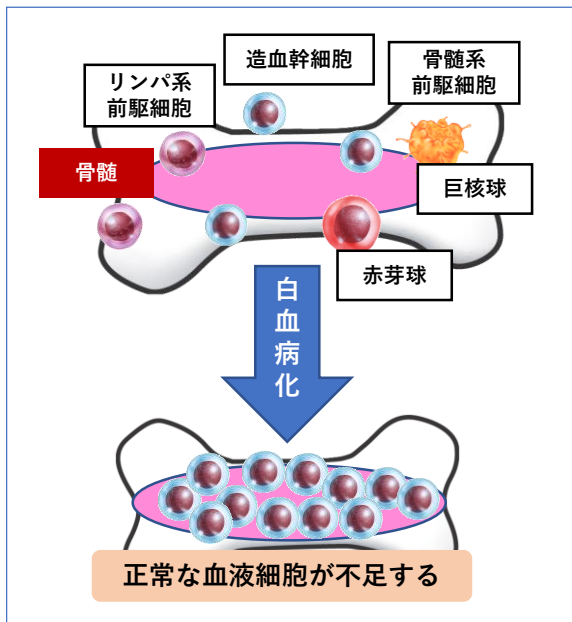
血液内科 部長 定平 健

当院では令和3年4月より14階南病棟の個室5床をクリーンルームに改築し、急性白血病に対する強力な化学療法をより安全に行うことのできる環境を整えました。今号では当院の白血病治療についてご紹介致します。

白血病ではどのような症状がみられますか？

血液細胞は、骨の中である「骨髄」という組織で作られます。白血病は、骨髄中にあるすべての血液細胞のもととなる「造血幹細胞」「がん化」することで起こります。

正常な血液をつくることができなくなり、さまざまな症状が現れます。



白血球の減少



感染に伴う発熱

感染が起こりやすくなり発熱する。

赤血球の減少



貧血

めまい、だるさ、動悸、息切れなどの症状が出る。

血小板の減少

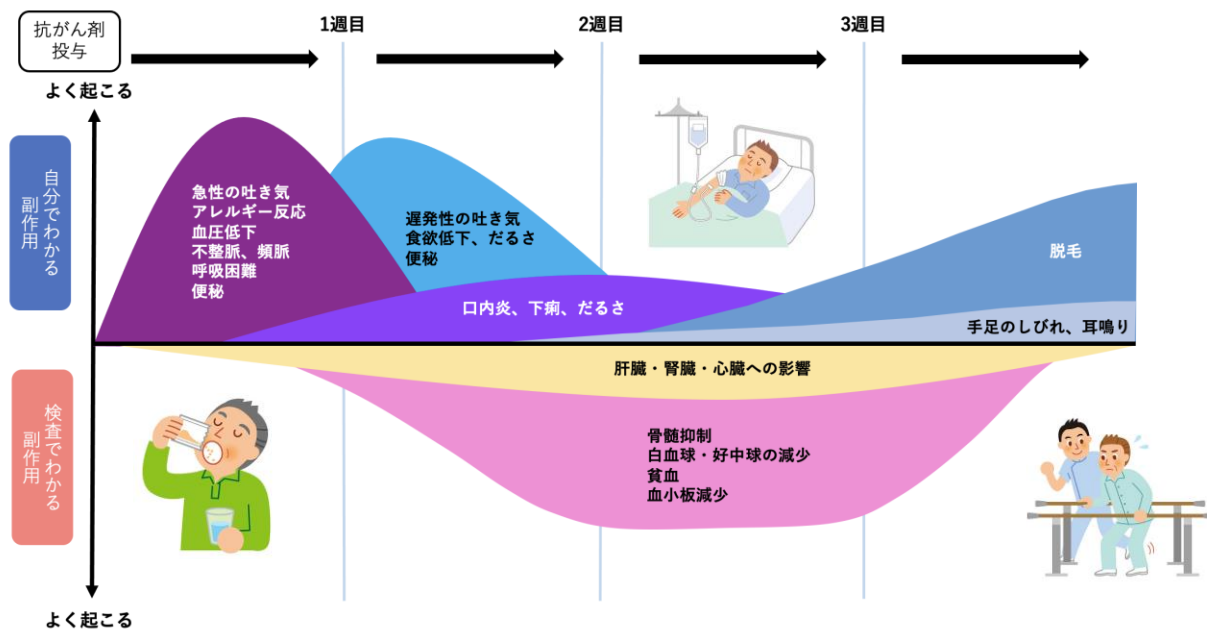


出血傾向

血が止まりにくくなったり出血しやすくなる。

白血病ではどのような治療をしますか？

薬物療法は急性白血病治療の柱となる大切な治療法です。数種類の薬を組み合わせています。治療中は検査を行い、治療の効果や副作用を観察しながら、慎重に治療を進めていきます。



血液疾患センター（14階南病棟）では毎週、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・栄養士・退院調整看護師が一同に集い、患者さんの治療や治療後の生活について話し合うカンファレンスを行っています。



抗がん剤の調製（ミキシング）は薬剤師が行います。抗がん剤では正確な用量採取や特別な溶解方法など、一般のお薬に比べてより厳密な調製が必要です。

安全管理の観点から、複数の薬剤師による多重のチェック体制を敷いています。そのほか、抗がん剤をどのような順番で投与するか、どのくらいの時間をかけて投与するか、吐き気止めやアレルギー予防の薬をどのくらいの量にするかといった治療の計画書（レジメン）を作成するのも薬剤師の仕事です。

クリーンルームとはどのような部屋ですか？どのような時に入りますか？



クリーンルームは特殊な空調設備を用いて、きれいな空気を循環させている部屋です。強力な化学療法により骨髄抑制が長く続く方の感染予防を目的としています。

- ・白血病
- ・再生不良性貧血
- ・骨髄異形成症候群
- ・悪性リンパ腫
- ・多発性骨髄腫

など血液疾患の治療中、医師が必要と判断した場合にクリーンルームに入室します。

治療中の食事はどのような注意が必要ですか？

治療中は免疫が低下しているため、食品からの感染にも注意が必要です。

<ポイント>

- ①十分に加熱すること
- ②生ものを避けること
例：生卵、刺身、生肉、生野菜など
- ③発酵食品を避けること
例：納豆、キムチ、ぬか漬けなど
- ④手洗いをしっかりすること
- ⑤調理後・開封後は早めに摂取すること
(2時間以内が目安)



食養科

<提供できない食品の例>

- ・生もの（サラダ、果物など）
- ・乳酸菌飲料、納豆、漬物などの発酵食品
- ・蜂蜜（ボツリヌス菌が含まれるため）

当院ではクリーンルーム開設に合わせて「無菌食」の提供を開始しました！

輸血とはどのような治療ですか？

不足した血液細胞を輸血で補う治療法です。輸血療法は他人の「血液」を輸血するので一種の臓器移植とも考えられ、身体に大きな負担をかける可能性があります。このため、輸血は厳重な管理とチェック体制のもとで行われます。

輸血療法のおおまかな手順（例：赤血球輸血の場合）



- ①血液型の確認
- ➡
- ②交差適合試験
- ➡
- ③輸血

主な副作用

起こりやすいもの



発熱



じんましん

極めてまれだが重篤なもの

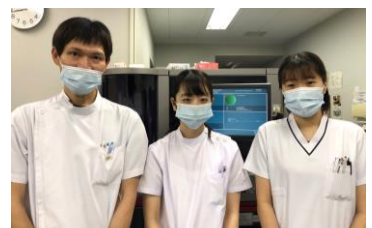
ショック

肺障害

GVHD

輸血した血液が
身体を攻撃して
しまう副作用

※ウイルス感染（肝炎ウイルスやHIVウイルス）の危険性もゼロではありません。



検査科（血液センター）

血液内科を支える川崎病院の職員を紹介してください。

検査科 検体検査部門（ブランチラボ）

末梢血液像の詳しい確認を行っています。さらに、骨髄検査で塗抹標本や生検病理標本の作製をサポートしています。

臨床検査技師は、患者さんの血液に異常がみられた場合の、第一発見者となるため、得られた情報を迅速に医師へフィードバックするように心がけています。



ブランチラボ（検体検査部門）

細菌検査室

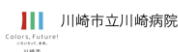
<一刻も早く患者さんに最適な治療が行えるよう努めています！>



検査科（細菌検査室）

血液疾患を有する患者さんは易感染性となり、血液中に細菌が侵入して起こる敗血症になるリスクが高いとされています。敗血症が疑われる場合、最も重要とされる検査は、細菌検査室が担う血液培養検査です。

血液培養検査では、血液中で感染を起こしている細菌の種類を特定することができます。迅速な診断かつ適正な抗菌薬による治療をサポートしています。



みんなの
血液内科

川崎病院の血液内科は地域のニーズに応える「みんなの血液内科」を目指しています。

●医療機関からの予約 → 患者サポートセンター（044-246-1289）

●患者さんからの予約 → 紹介予約センター（044-249-0489）

にお電話ください。受診の際は、かかりつけ医療機関からの紹介状とおくすり手帳を持参してください。

院内職員の公募によりタイトル「くすの木」のデザインを一新しました！！

左下には旧川崎病院の俯瞰図を表現し、中央部には当病院のシンボルの楠、右下には現在の川崎病院を配置する事で、過去から現在、そして未来へと川崎病院の歴史が紡がれていくイメージとして、全体的に水彩画調にする事で、「優しさ」や「あたたかさ」を表現しました。

患者さんの権利

当院は、患者さんの医療にかかわる、次の権利を尊重します。

- 1 生命の尊厳と、人格を尊重した医療を受ける権利があります。
- 2 安全安心で質の高い医療を平等に受ける権利があります。
- 3 ご自身の病気や治療について知る権利を持ち、わかりやすく説明を受け、希望や意見を述べる権利があります。なお病名や予後について知りたくない場合は、そのお気持ちを尊重します。
- 4 ご自身が受ける医療を自らの意思で選択あるいは拒否する権利があります。
- 5 ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師および他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。
- 6 診療上の個人情報には厳重に保護され、その秘密は守られます。

〔発行元〕 令和3年10月28日発行（第43号） 発行責任者：岡 正／編集：広報委員会
事務局：川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話：044-233-5521
<http://www.city.kawasaki.jp/32/cmsfiles/contents/0000037/37856/kawasaki/>